



Sumoto International Association



VOL.002

平成21年3月4日

洲本市国際交流協会企画部会発行

洲本市本町三丁目4番10号

洲本市企画情報部秘書課内

TEL:0799-26-0175 FAX:0799-23-2340

## ◆来年度の新しい会長が決まりました

～平成20年度 臨時総会を開催～

平成20年度洲本市国際交流協会臨時総会が、12月12日にウェルネスパーク五色の夢工房で開催され、4つの議案が審議、承認されました。

次年度の会長・監事が下記のとおり決まり、洲本市国際交流協会も第2期体制へ移ります。既存事業の継続はもちろんのこと、新しい会長と共に更なる協会の発展に繋がられるよう努力いたしますので、積極的に事業にご参加くださいますようお願いいたします。

また、会員の中から事業企画・運営していただける方を募集しています。

○会長 琴井谷 隆志

○監事 伊富貴 幸廣、羽原 正

### 臨時総会で承認された議案

#### ◆議案第1号

洲本市国際交流協会会長選任について

#### ◆議案第2号

洲本市国際交流協会監事選任について

#### ◆議案第3号

洲本市国際交流協会基金の取崩しについて

#### ◆議案第4号

平成20年度洲本市国際交流協会補正予算について

## ◆ハワイ島親善訪問～笑い・喜び・楽しみ100%～

10回目となる青少年ホームステイ派遣事業・ハワイ島親善訪問が7月24日～30日の間、実施され、協会員6名を含む16名の訪問団がハワイ島・ヒロを訪れました。

これから始まるホームステイに期待で胸を膨らませた学生たちを乗せた飛行機は、7月25日午後5時11分(現地時間)ヒロ国際空港に到着しました。一行は到着後、お世話になる東キワニスクラブのメンバーの出迎えを受けました。その後、ホストファミリーの待つヒロ高校に移動し、現地高校生のヒロ・キークラブ、東キワニスクラブのメンバーの心温まる歓迎を受けました。歓迎会では、ヒロ高校生によるフラダンスが披露され、協会員も学生に混じってフラダンスに挑戦、独特のステップで上手には踊れませんでした。会場から大きな拍手を頂きました。また、東キワニスクラブのメンバーが用意してくれたハワイアンフードで心もお腹も満たされ初日は、あっという間に過ぎていきました。



▲初のハワイアンフード！  
お味はいかがでしょう♪



翌日、訪問団は噴火活動を続けているキラウエア火山を巡り、至る所で噴出する火山の蒸気を目の当たりにし、地球の息吹を体感しました。

ハワイ島の最高峰・マウナケアでは、目の前に広がる雲海、虹色に変わる空、降り注ぐ満天の星など、日本では体験できない幻想的な世界へ引き込まれました。

◀ 滞在中、お世話になった東キワニスクラブのメンバーと

滞在中は、東キワニスクラブのメンバーが中心となって、ハワイ随一とも評されるハプナビーチやレインボーフォールズなど、ハワイ島にある数々の名所を案内してくれました。

4日目の夕方から開かれたFarewell Partyでは学生がそれぞれ滞在中の思い出や感想を英語でスピーチしたほか、阿波踊り、フラダンスをするなど、終始、笑顔溢れる楽しいパーティーとなりました。4日間の短い滞在でしたがハワイの広大な自然といつも明るく、心豊かなハワイの方の優しさに触れた参加学生からは『自分を大きく成長させてくれる体験だった』『忘れられない夏を過ごすことができた』など、協会の青少年ホームステイ派遣事業に対して感謝の声が届きました。



▲レインボーフォールズ



▲Farewell Partyでの  
最高の笑顔★★

訪問後半年経ちましたが、今も連絡を取っているようです。

今回、参加した学生は生活様式や言葉の違いがある中で、積極的に文化・習慣を学ぼうと一生懸命過ごしました。そして、訪問目的である友好親善に大きな役割を果たしてくれました。

協会では今後も友好親善のため、市内高校生に国際交流感覚を身に付ける機会提供のため、ホームステイ事業の継続を考えています。

## ◆ハロウィンパーティも開催！！今年の外国語講座

9月18日～12月4日まで、研修部会主催の外国語講座（英語と中国語）が開講されました。昨年度に引き続き受講されている方も多く、49名の受講生は週1回の講座を楽しみにされています。

どのような講座なのか・・・興味をお持ちのみなさま！！

4クラスそれぞれ特徴はあると思いますが、来日3年目のミギ先生のクラス（英語・初級）で10月30日に行われた授業に参加してきました！10月31日といえばアメリカではハロウィンということで授業では先生の企画でハロウィンパーティが開かれていました。



▲お気に入りのコスチューム姿

受講生は自慢のコスチュームを身に付け大変身。カエル、犬、マスクマン、ゴキブリ、チャイニーズ、フライトアテンダントなどなど様々。いつもとは違う受講生の姿に先生は大笑い。また、受講生もお互いの姿に大笑い。机には各自が持ち寄った食べ物や飲み物が並べられ、大盛り上がりでした。

パーティといっても、授業はあります。この日の授業テーマはもちろんハロウィン。受講生はハロウィンの迷信やいわれについて勉強した後、日本の迷信についてスキット（芝居）や体験談を話しました。他のクラスでもハロウィンにちなんだ授業や外国語の歌の練習をするなど楽しい授業になりました。



▲閉講式で熱唱中です♪  
『can't help fall in love』

通常の授業では各クラス英語でゲームをしたり、歌を歌ったり、DVDを見たりと楽しく勉強できるように先生が工夫されています。こういった先生の工夫が受講生を飽きさせないんでしょうね！！

今回の閉講式では各クラス、授業中に練習した曲を発表しました。今回の外国語講座は盛況のうちに終了しましたが、参加できなかった会員のみなさま、次回開催をご期待ください。

☆お世話になった先生方の紹介（敬称略）☆

パトリック（英語・上級クラス担当）、ジョナサン（英語・中級クラス担当）

ミギ（英語・初級クラス担当）、幹田クーミン（中国語クラス担当）

## ◆姉妹都市親善訪問 ～ヴァンワート市～

洲本市長のオハイオ州ヴァンワート市へ姉妹都市提携調印のための訪問に10月5日～10日の6日間、6名の協会員が随行しました。ヴァンワート市は広大な農業地区と企業進出が目覚ましい商業地区を併せ持つ地域です。

訪問団一行は、5日、デトロイトに到着後、ヘンリーフォード博物館を見学しました。同博物館は5万平方キロメートルの広大な建物に、歴代大統領の愛車や名車が年代順に展示されており、輸送機器に留まらず、産業工業や生活用品などもコレクションされています。



▲大統領の愛車がずらり ▲ヘンリーフォード博物館



▲カメラの向こうには数々の記者たち

見学後、ヴァンワートへ向けて出発、到着したホテルでは、エーマー市長をはじめ交流委員の方々の心温まる歓迎を受けました。

2日目、地元の新聞記者が集められ、ヴァンワート市庁舎で公式記者会見を行いました。その様子は、当日の夕刊紙のトップページに掲載されるなど、注目を集めました。また、隣町のライマ市にあるテレビ局からの取材も受け、当日の夕方ニュースで放映されました。

また、市庁舎、警察署、消防署の3つの公共機能を兼ね備えた中央庁舎では、はしご車に乗車しました。上から見渡すヴァンワート市内は、ちょうど紅葉の時期で、色づき始めた木々が更に市内の建造物に趣を出していました。その他、市民の寄付によって作られた子供のための公園、街のシンボルの裁判所やアメリカで最初の州立図書館などを訪問しました。

夕方に行われた姉妹都市提携調印式には歴代のヴァンワート市長、ホストファミリーなどが集まり、各家庭から持ち寄った手作りの自慢料理と各テーブルには洲本の品々が飾られ、ヴァンワートの方々の優しさで温かさが感じられるパーティーとなりました。

い調  
る印  
両書  
市長  
に署  
名し  
て



3日目、デザインから組み立てまでのすべての工程を行っている救急車の製造会社や大規模な大豆やとうもろこし農場、800頭もの乳牛を育てている牧場を視察しました。その他には18プログラムが用意され、500人が学ぶ職業訓練校や最新の設備の整った文化・芸術の交流拠点であるアートパフォーマンスセンターとバリアフリーが整っている中・高等学校を見学しました。3日間の滞在中はエーマー市長をはじめ、交流委員の方々のお世話によりヴァンワート市内を丁寧に紹介してくれました。



▲市長室に飾られていた姉妹都市の記念品



▲お世話になった交流委員の方々

4日目、飛行機を乗り継ぎ、世界三大瀑布のナイアガラの滝を視察しました。ナイアガラでは霧の乙女号に乗船し、滝つぼの脇から眺める水の流れの迫りに驚き、心の底から湧き出る笑いに包まれた一日となりました。6日間という短い期間ではありましたが、親善訪問で素晴らしい体験をしました。



▲美しい眺めとは対照的で近づけば飲み込まれてしまいそう

## ◆サプライズ！！第3回会員交流会

会長から会員のみなさまへ素敵！？なプレゼントです

ウェルネスパーク五色の浜千鳥で12月12日に第3回会員交流会が開かれました。

今回の会員交流会の中身は盛りだくさん！！ヴァンワート市親善報告にクリスマス！会員交流部会のみなさまは少しでもクリスマスムードを楽しんでもらえるようにと様々な工夫をしてくれました。

お楽しみの一つにビンゴゲームが行われました。商品にはipod、淡路ビーフ、クリスマスケーキ、ポインセチアなど、クリスマスにちなんだ商品からそれ以外もたくさん。商品めがけてビンゴゲームは大盛り上がり。早々に商品をゲットした方も、最後の最後までビンゴにならずになかなか商品を手に出出来なかった方も最後には、一つずつクリスマスプレゼントを持って帰ることが出来ました。ゲームで盛り上がった後にはBigクリスマスプレゼントが待っていました。突然、ジングルベルが会場に流れ、その音楽と共にスキップで登場したのはナントナント！！今までに見たことのない嵯峨会長&酒井専務理事の姿。嵯峨サンタと酒井サンタの登場でした。会場からの大きな笑い声と拍手に照れ笑いの会長。その隣の専務理事は対照的にカメラに向かってピースをしたりと愛嬌を振りまいていました。



▲嵯峨サンタと酒井サンタ！！  
会場の注目を一気に引き寄せました。



▲ハンドベル講師 瀬戸理事！！  
準備、指導お世話になりました

2人のサンタさんと共に参加者はハンドベルに挑戦しました。ハンドベルを触るのも始めてという方も多く、少々不安もありましたが、そんな心配は無用でした。本番にはそれぞれが自分のパートを間違えることなく演奏し、一つの綺麗なメロディーが会場全体に響き渡りました。



▲赤色のベルを担当してくださいね♪

交流会の最後には、出席者全員が輪となって、手にはキャンドルを持ちクリスマス代表曲『きよこの夜』を熱唱しました。また一つ、国際交流協会の思い出が増えた一日となりました。企画、運営などすべてを担当してくれた会員交流部会のみなさまありがとうございました。

## ◆日本語教育ボランティア養成講座開講

～他市国際交流協会と協力して取り組んでいます～

2月7日～3月14日の毎週土曜日、兵庫県国際交流協会と島内3市国際交流協会、にほんごさーくる淡路の5団体の共催による日本語教育ボランティア養成講座が開講しています。

淡路島内には600人を超す外国人の方が住んでおり、その中には日本語が不自由な方もいます。そのような方々に、ボランティアとして日本語を教えたい！！と希望する59名の方々が集まり養成講座を受けています。

普段なんとなく使っている日本語。教えるなんて簡単だよと思っているあなた！！実際はそんなに簡単ではないんです。受講生は四苦八苦しながら熱心に受講しています。受講生からは「日本語は奥が深い」という声も聞かれています。講座が修了するころには立派な日本語の先生が誕生することでしょう。



▲見よ。この真剣なまなざし！！！！